

## 奮闘の日々

20代のフレッシュユバソン

計測機器商社の三弘(本社名古屋市昭和区車田町1の103の2)で営業職に就いている美濃羽勇志さん(27)は、入社5年目。主に市役所などの自治体向けに、騒音の計測器や大気の測定器などを納入している。

出身は一宮市。営業職を希望し就職活動する中で、三弘に興味を持った。「説明会の際に、当時の社長が『利益ではなく、世のため、人のために尽力している会社です』と紹介していた。衝撃を受けた」と振り返る。大学時代は経営学部に通っていたため、「企業とは、利益を追い

三弘 環境防災営業部  
営業 2グループ主任

## 美濃羽 勇志さん

みのわ・ゆうじ

求めるものだと思っていた」のが本音だ。

この理念に引かれ、縁あって入社が決まった。同社の営業は、自治体や官公庁向けの環境防分分野と、民間企業向けの産業計測分野などに分かれており、美濃羽さんは「環境防災営業部」に所属している。

取り扱う機器によっては、国が定めた法律やガイドラインに準拠する機器の提案が求められるなど、難しさもある。「計測機器については、まったく無知だった」というが、これまで先輩や上司らにこまめに相談しながら、知識を増やし、ノウハウを磨いてきた。今では、就職活動中の学生に向けて、会社の概要を説明することもあるほど。若手のホープとして、活躍して

## 世のため、人のために尽力

いる。

仕事のやりがいも日々、かみしめている。たとえば大気の測定器は、機器に加えて測定器を設置するための専用の小屋など付帯設備も合わせて提案し、納入を一手に担う。「まったく知らない状態から、機器を取り付けたり小屋を建てたり。完成すると、これで皆さんの生活の環境保全に貢献できると、ほっとする」。自身は、「どちらかといえば自信がないほう」とか。「心配性なところもあるので、『明日は明日の風が吹く』と、樂觀的に考えることを心がけている」と、工夫している。

休みの日には、できるだけ仕事から離れて気分をリフレッシュできるよう「山や川など、人の少ない自然豊かな場所に一人で出かけている」と、笑顔をみせる。エネルギーをチャージしてまた、仕事に全力を注いでいる。



計測機器をはじめ周辺設備も提案する美濃羽さん